

# 競技注意事項

1. 本大会は、2022年WA規則・競技会における広告及び展示物に関する規程を適用し、2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により行う。

2. 新型コロナウイルスの感染拡大防止について

- ① 入場者へはヤンマースタジアム長居エントランスホールにて非接触での検温を実施し、グランプリ種目競技者には、テレサ入場コードの提示を求める。当日検温で37.5℃以上の場合、参加を認めない場合がある。
- ② 「大阪コロナ追跡システム」に登録すること。
- ③ 来場に当たっては、運動時を除いて原則としてマスクを着用すること。
- ④ 休憩待機所、練習場・招集所等については競技役員の指示に従い、身体的距離を確保すること。
- ⑤ 飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
- ⑥ 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発生した場合は、主催者(大阪陸上競技協会)に報告すること。

3. 競技場の受付および入場について

- ① 開門時刻は両日とも7時30分とする。
- ② 競技者受付は、ヤンマースタジアム長居の正面エントランスホール内 TIC で行う。
- ③ ヤンマースタジアム長居の入場は正面玄関とマラソングート、ヤンマーフィールド長居の入退場はマラソングートのみとする。入場・移動の際は、発行されたADカードを携行すること。

4. 更衣について

- ① グランプリ種目出場競技者の更衣用としてヤンマースタジアム長居に更衣室を用意する。
- ② 小学・中学・高校種目の出場競技者はヤンマーフィールド長居の更衣室を利用すること。
- ③ 更衣室は更衣のみに使用し、待機場所としての利用はしないこと。

5. 練習について

- ① ヤンマーフィールド長居をウォーミングアップ場とする。但し、芝生内は立ち入りを禁止とする。また、フィールド内で競技が行われるとき、トラックの使用を制限される場合がある。また、ヤンマースタジアム長居バックスタンド下の室内練習場使用は、グランプリ種目参加競技者のみとする。(使用可能時間 7:30~17:00)
- ② 跳躍・投てき種目の練習は各種目とも競技開始前に競技役員の指示により、競技場所で行うこと。
- ③ 早朝のヤンマースタジアム長居での練習は、7時30分から競技開始30分前までとする。但し、グランプリ種目出場競技者に限る。なお、やり投は、1日目9時から10時30分まで、2日目8時から9時30分まで可能とする。但し、競技準備のため、一時中断する場合がある。
- ④ 前日(4月29日)練習は、ヤンマースタジアム長居で10時~16時の間可能とするが、グランプリ種目出場競技者に限る。なお、やり投げは、助走練習のみとする。

6. 招集について

- ① アスリートビブスは配付されたものを使用すること。
- ② 招集所はヤンマースタジアム長居マラソングート内に設置する。
- ③ 招集開始時刻及び招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、以下のとおりとするが競技日程にも記載している。
- ④

招集時間	トラック		フィールド (棒高跳除く)	棒高跳
	予選・決勝	タイム決勝		
開始時刻	予選 30分前 決勝 20分前	30分前	50分前	70分前
完了時刻	予選 20分前 決勝 10分前	20分前	40分前	60分前

- ⑤ 混成競技の招集は、両日の第1種目のみトラック予選もしくはフィールドに示す時刻に招集所で行う。以後の種目は、競技開始の30分前までに集合して、混成控室前で行う。
- ⑥ 招集完了時刻に遅れた競技者は欠場するものとして処理する。
- ⑦ 競技者は、招集所にてアスリートビブス、競技用靴のスパイクピンや競技場内で着用するウェアほか持込みバック類の商標のチェックを受け、招集完了時刻に競技役員の指示により移動する。
- ⑧ 携帯電話等、競技規則 TR6.3.2 に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
- ⑨ 代理は認めない。
- ⑩ 欠場する競技者は、招集完了時刻30分前までに所定の「欠場届」を競技者係に提出すること。
- ⑪ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとする。

## 7. 競技について

- ① 競技用靴については TR5 および競技用靴規程を適用する。スパイクピンの長さは、9mm 以内とし、いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。靴底の厚さは、TR5.2 のとおりとする。(800m以上の種目は、25mmまでとする。) ただし、小学生は対象外とする。
- ② GP 棒高跳のバーの上げ方(1位決定のバーの上げ下げは5cm) は以下のとおりとする。  
なお、練習の高さは現地で決定する。  
男子 GP 5m00-5m10-5m20-5m30-5m40-5m50-5m60 -以後5cm ずつ  
女子 GP 3m70-3m80-3m90-4m00-4m10-4m20 -以後5cm ずつ
- ③ 中学・高校の走高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。  
中学女子 1m40-1m45-1m50-1m55-1m60 -以後3cm ずつ  
高校女子 1m45-1m50-1m55-1m60 -以後3cm ずつ
- ④ 中学・高校の走幅跳・投てき競技は、全ての競技者3回の試技の後、上位8名にはさらに2回の試技が与えられる。(出場競技者が8名以下の場合は、全ての競技者に5回の試技が与えられる。)
- ⑤ やりの検査は競技開始時刻の2時間前から1時間前まで、ヤンマースタジアム長居のエントランスホール内 TICにて受け付ける。
- ⑥ グランプリ種目のトラック競技では、スタート前に脱衣した競技者の衣類を PECA へ運搬する。

## 8. リレーオーダーの提出について

- ① 小学のリレーのオーダー用紙は、受付時に TIC に提出すること。
- ② 中学・高校のリレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までにマラソンゲート内の招集所へ提出すること。なお、提出後のオーダー変更は認められず、医務員の判断による変更可能な場合でも編成(走順)の変更は認められない。

## 9. 抗議について

競技の結果発表は大型スクリーン及びアナウンスにて行う。競技の結果または競技についての抗議は、TICで受け付ける。

## 10. 表彰について

- ① グランプリ種目3位までの競技者には賞金を贈呈する。110mH・100mHの優勝者にはトロフィーを授与する。
- ② 対象となる競技者は、上下トレーニングウェア(もしくはTシャツ、ズボン)を着用して表彰を受けること。なお、アスリートビブはユニフォームからトレーニングウェアに付け替えること。(胸部のみ)
- ③ 小学・中学・高校種目は、1位～3位に賞状を授与する。(受け渡しは TIC で行う。)

## 11. 個人情報の取扱い

- ① 主催者及び共催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。  
なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記者発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- ② 本大会はテレビ放送及びインターネットで動画配信を行う。
- ③ 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、共催者及び主催者、共催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

## 12.ドーピングコントロール

- ① 本競技会は、ワールドアスレティックス アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会(時)ドーピング検査対象大会である。競技会(時)検査は大会前日 23 時 59 分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること。
- ② 競技会(時)検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。
- ③ 本競技会参加者(18 歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。18 歳未満の競技者については、本競技会へのエントリーにより、親権者の同意を得たものとみなす。
- ④ 上記③にかかわらず本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者が署名した同意書を大会に持参すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできる。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名した当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出すること。ドーピング検査実施時に親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング検査手続に一切影響がないものとする。
- ⑤ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ⑥ 競技会(時)・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となることがあることに留意すること。
- ⑦ TUE申請について  
禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト(<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、または JADA のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。禁止物質・禁止方法について TUE が付与されている場合には、その証明書(コピーで可)をドーピング検査の際に検査員へ提出すること。
- ⑧ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、JADA のウェブサイトにて事前に確認すること。

## 13.競技場内で着用する衣類と持ち込み物品について

競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については以下の様になっている。[国際]と[国内]で掲出できる数とサイズが異なるため、WACT ブロンズ種目出場者は事前に確認し準備しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。

### 【アスリートキット】

- ① 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

### 【WACT ブロンズ種目/国際規程】

- ① 上衣 下衣〔それぞれ〕\*スポンサー名/ロゴは上下全く同一のものでなければならない。
  - ・製造会社名/ロゴ: 1つ/一箇所 40cm<sup>2</sup>(高さ5cm)まで
  - ・スポンサー名/ロゴ: 2つ/二箇所 それぞれ40cm<sup>2</sup>(高さ5cm)まで
  - ※スポンサー名/ロゴのうち1つ/一箇所を、次のいずれかに変更できる
  - 〔所属団体名/ロゴ〕または〔学校名/ロゴ〕: 一箇所 40cm<sup>2</sup>(高さ5cm)まで
- ② 競技者が着用するあらゆるその他のアパレル(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、

メガネ、サングラス etc)

・製造会社名/ロゴ: 1つ/一箇所 6cm<sup>2</sup>(高さ3cm)まで

※メガネおよびサングラスについては、製造会社名/ロゴを二箇所掲出できる

#### 〔国内規程〕

① 上衣 下衣〔それぞれ〕 \*スポンサー名/ロゴは上下全く同一のものでなければならない。

・製造会社名/ロゴ: 1つ/一箇所 40cm<sup>2</sup>(高さ5cm)まで

・スポンサー名/ロゴ: 1つ/一箇所 40cm<sup>2</sup>(高さ5cm)まで

・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ:

〔所属団体名/ロゴ〕

上衣…前後 各一箇所 \*長さは問わないが、高さは 前:5cm、後ろ:4cm まで

下衣…一箇所 \*長さは問わないが、高さは 5cmまで

〔学校名/ロゴ〕 上衣・下衣 大きさの規制なし

② 競技者が着用するあらゆるその他のアパレル(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラス etc)

・製造会社名/ロゴ: 1つ/一箇所 6cm<sup>2</sup>(高さ3cm)まで

※メガネおよびサングラスについては、製造会社名/ロゴを二箇所掲出できる

・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ: 1つ/一箇所

〔所属団体名/ロゴ〕6cm<sup>2</sup>(高さ3cm)まで

〔学校名/ロゴ〕 大きさの規制なし

#### 【個人の所有物およびアクセサリ】

##### 〔WACT ブロンズ種目/国際規程〕

① タオルやバッグ

・製造会社名/ロゴ: 1つ/一箇所 40cm<sup>2</sup>まで(高さ5cm)

・スポンサー名/ロゴ または 競技者名/競技者個人のハッシュタグ:

2つ/二箇所 それぞれ40cm<sup>2</sup>まで(高さ5cm)

※バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち1つ/一箇所を、次のいずれかに変更できる

〔所属団体名/ロゴ〕または〔学校名/ロゴ〕: 1つ/一箇所 40cm<sup>2</sup>(高さ5cm)まで

##### 〔国内規程〕

① タオルやバッグ

・製造会社名/ロゴ: 1つ/一箇所 40cm<sup>2</sup>(高さ5cm)まで

・スポンサー名/ロゴ または 競技者名/競技者個人のハッシュタグ:

2つ/二箇所 それぞれ40cm<sup>2</sup>(高さ5cm)まで

※バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち1つ/一箇所を、次のいずれかに変更できる

〔所属団体名/ロゴ〕 長さは問わないが高さは5cmまで

〔学校名/ロゴ〕 大きさの規制なし

##### 〔WACT ブロンズ種目/国際規程〕〔国内規程〕共通

① 飲料ボトル

・ドリンクの提供者、製造会社、および(または)アスリートスポンサー名/ロゴ: 2つ

それぞれ40cm<sup>2</sup>(高さ5cm)まで

※ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

#### 14.その他

① 応急処置その他健康上の問題が生じた場合は、本部に連絡して医務室で処置を受けることができる。

② 大会期間中の貴重品の保管は、各自で行うこと。盗難等の被害に対し主催者はその責任を負わない。

③ ごみはすべて持ち帰ること。